



グリーンリーディング資料

パッティンググリーンに関する情報の解釈（提案：ドラフト 2018 年 7 月 31 日時点）

パッティンググリーン上でプレーヤーのプレーの線を読むことはゴルフのチャレンジに不可欠な技量です。したがって、パッティンググリーンマップで認められる情報量には制限が設けられます。

パッティンググリーンは輪郭線を示したり、尾根の頂上や大まかな傾斜のような表示情報を含む基本的なイラストレーションなど、伝統的なヤーデージブックやコースガイドに含まれる一般的な情報は認められません。そうした情報量では、特にホール付近のエリアの微妙な特徴や傾斜を読み解くというプレーヤーやキャディーの技量や判断は依然として求められるので、プレーの線を読むというチャレンジを失わせたり、軽減するとはみなされません。

しかしながら、方向を示す多くの矢印、等高線、数字で示される傾斜指標を通じて得られる微妙な特徴や傾斜に関する情報を含むより詳細で精緻なパッティンググリーンマップはプレーの線を読むというチャレンジを軽減することになり、したがって、認められません。

出版された資料

プレーヤーはパッティンググリーンマップやその他のパッティンググリーンに関する情報を使うことが認められますが、次の要件を満たさなければなりません。

- 4 パーセント以上の傾斜だけを描写している（これにはライン、矢印、数字、その他の表示を含む）。
- 5 ヤードに対して 3/8 インチ（1:480）の縮尺かそれ以下に限定される。

デジタルフォームでは、その資料は適応性のあるものであってはならず（つまり、固定値でなければならない）、特にプレーヤーの球とホールの位置に基づき推奨するプレーの線を提示するものであってはなりません。

手書きのノート

プレーヤーやキャディーは、パッティンググリーンに関する情報を提供するマップや事前に作成された資料に手書きのノートを加えることが認められます。通常、手書きのノートについて制約はありませんが、そうした手書きのノートはこの解釈の要件を満たさない詳細なマップ（全部やその一部）のコピーや模写とはなりません。

以下の例を含みます：

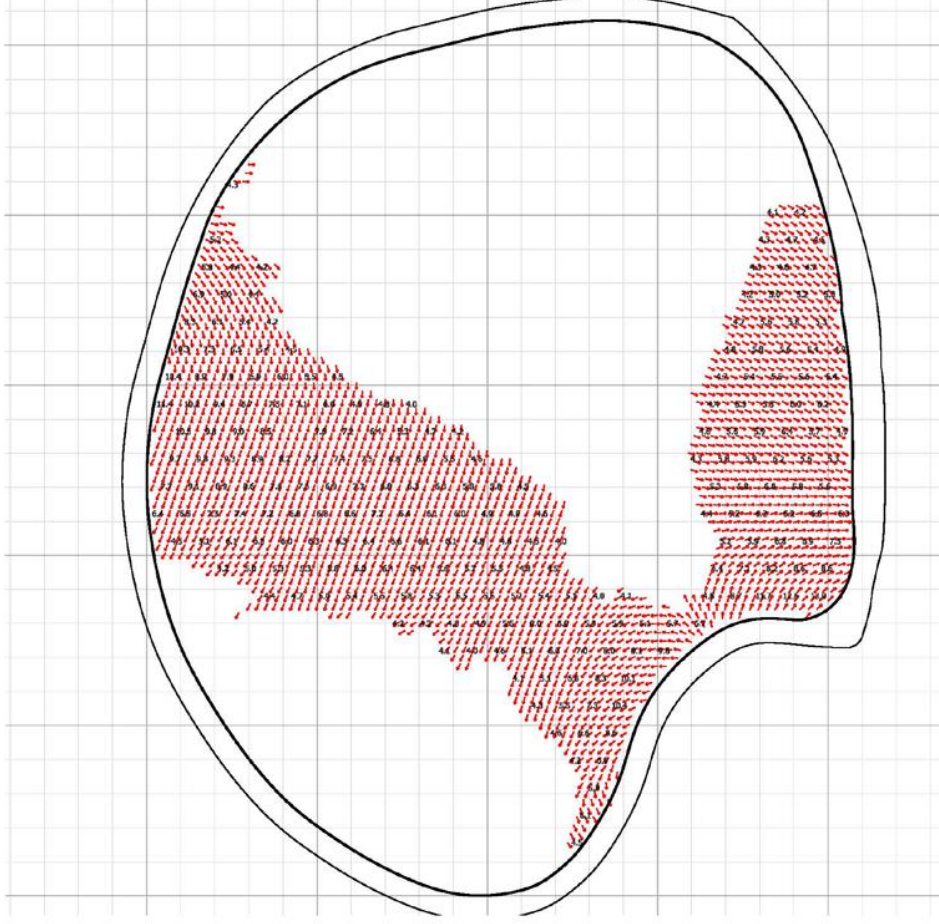
- 手書きのノートには（伝統的なヤーデージブックやコースガイドで認められているように）追加的な表示情報を書き入れることができますが、等高線をトレースしたり、特定の方向を示す矢印や数字による傾斜表示を直接コピーしてはなりません。そして、
- プレーヤーやキャディーが水平器を用いて作成する手書きのノートには 4 パーセント未満のいかなる傾斜の表示も書き入れてはなりません。そうした表示はこの解釈の要件を満たさない詳細なグリーンマップの「模写」となるからです。

ヤーデージブック、コースガイド、またはより詳細なグリーンマップのイメージを製作する業者は、上記の要件を満たすことを確認するために、R&A あるいは USGA に助言を求め、その製作物のサンプルを提出することを奨励します。

ドラフト：2018 年 7 月 31 日

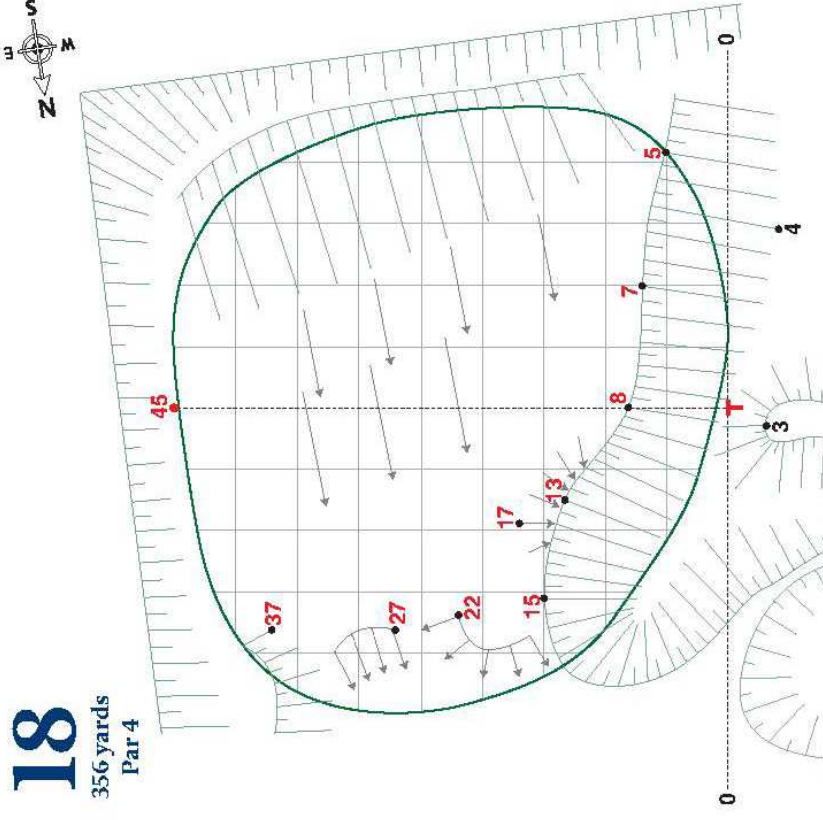
グリーンマップ (4パーセント以上の傾斜指標) – 認められる

下記のサンプルは許容されるレベルの詳細である4パーセント以上の傾斜を含むグリーンマップを描写して
います。



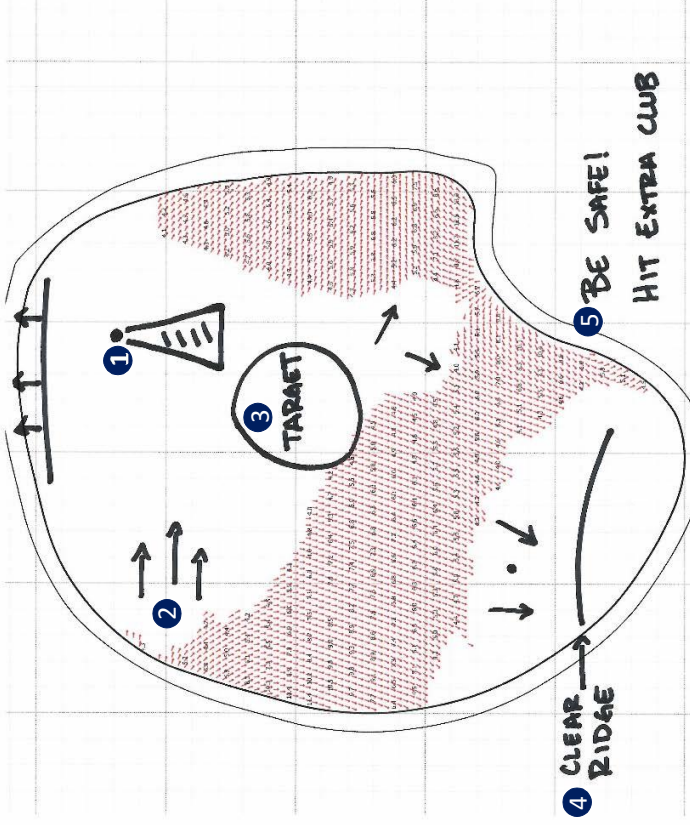
伝統的なヤーデージブックー認められる

下記のサンプルは尾根の頂上や大まかな傾斜といった基本的なイラストレーションや表示情報を含んだ伝統的なヤーデージブックやユースガイドを描写しています。



手書きのノート - 認められる

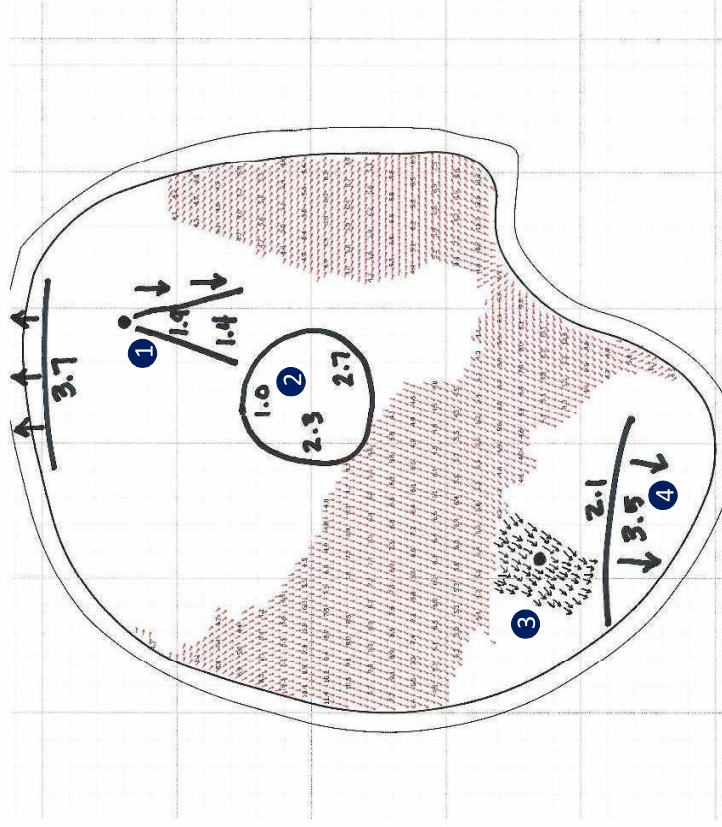
下記のサンプルはグリーンマップに含めることが認められる一般的な手書きのノートの種類の事例を含んでいます。



①	特定のホールロケーションに向けてパットするのに望ましい位置を示すターゲットライン。
②	パッティンググリーン上のある区域の一般的な傾斜を示す矢印。
③	アプローチショットで狙うターゲットエリア。
④	パッティンググリーンの特徴を描写するテキスト。
⑤	スイングの注意点や戦略の確認事項などの一般的なテキスト。

手書きのノート一認められない

下記のサンプルは手書きでない場合にはこの解釈で認められない情報を含んでいないためにグリーンマップに含まれることが認められない手書きのノートを含んでいません。



①	傾斜指標が含まれるターゲットライン。
②	傾斜指標が含まれるターゲットエリア。
③	詳細なグリーンマップのコピーや模写による詳細な矢印。
④	尾根の頂上の表示と共にある傾斜指標。